

Asian Oceanian School of Radiology (AOSOR) Youth Club 2025 参加報告

滋賀医科大学 放射線科 井上明星

2025 年 9 月 10～13 日に台北で開催された AOSOR Youth Club 2025 に日本医学放射線学会からの推薦を受けて参加させていただきましたので報告をいたします。15 か国から 1 名ずつの参加者と台湾から 3 名のオブザーバー参加があり、初日の晩餐会では、参加者の自己紹介の後に富山理事長の誕生日がサプライズでお祝いされたのが印象的でした。

コースは 2 日間にわたり合計 13 クラスで構成され、普段の学会で聴講する放射線医学における研究や教育とは全く異なる内容で構成されていました。どのクラスもインタラクティブに進められ、グループディスカッションや意見を求められる場面がありましたので、終始集中して聴いていました。1 日目のクラスは台湾放射線学会が企画されており、午前には精神を健康に保つための気持ちの持ち方の勧めと瞑想の実践、午後はスターバックスでの経験をもとに会議を有意義に進めるポイント、造影剤メーカーからリーダーとしての戦略的思考、台湾の脳外科医からプレゼン作成のコツについて学びました。2 日目は AOSR の講師陣から、学会としてのリーダーシップ、学会の運営、AOSR の歴史、財務管理、アジアオセアニアにおける放射線科を取り巻くトレンド、学会間での交流、学会プログラムの立案のハンズオン、学会運営におけるリスクマネジメントが内容として取り上げられました。

30 分と長めの休憩時間や毎晩の食事会が用意されており、他の参加者と存分に歓談・交流することができました。言語によるコミュニケーションの難しさはありましたが、国内よりも心理的な壁は感じず、積極的に初対面の人に話しかけることができました。台湾放射線学会(CTSR)、アジアオセアニア放射線学会(AOSR)の先生方のおかげで、期間中は楽しく有意義に過ごすことができました。この 2 週間後に Korean Congress of Radiology (KCR 2025)に参加したのですが、AOSOR Youth Club で出会った数人の仲間と再会できたことは感激でした。AOSOR Youth Club で得た人脈を大切に、今後につなげていければと考えています(ちなみに、全員 WhatsApp でつながりました)。とても貴重な機会を与えてくださった学会関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



発言を求められる筆者



クルーズ船での食事会